

# Cente Technical Information

発行番号	021-0003	Rev	第1版	発行日	2014/07/04
題名	USBメモリを挿入直後に抜いた場合、次回以降挿入時にUSBメモリが認識できなくなることがある現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente USB2.0 ホスト マスストレージ for M66596 Ver.1.00 - Ver.1.08				
関連資料	なし				
<b>【該当するユーザ環境】</b> 本パッケージを使用している全ユーザ。					
<b>【障害内容】</b> USBメモリを挿入直後に抜いた場合、次回以降挿入時にUSBメモリが認識できなくなることがあります。一度この状態になると、挿入し直しても認識されません。機器の電源再投入の必要があります。					
<b>【発生理由】</b> USBメモリが挿入されると、ドライバでは下のよう処理します。 1 挿入によって割り込み関数が呼ばれる。挿抜処理タスクへ挿入メッセージを送信。 2 挿抜処理タスクでそのメッセージを受信し、実際の挿入処理を行う。 ここで、上記「2」を実行中にUSBメモリが抜かれた場合、割り込み関数が呼ばれて挿抜処理タスクへ抜出メッセージを送信しますが、まだ挿入処理が実行中なので、キューに入った状態となります。一方、挿入処理では、拔出によってバルク転送がエラーするものの、一時的なエラーと判断し、リトライしています。USBメモリが存在しない状態でバルク転送を実行すると転送が完了しない状態(エラー終了もしない)となってしまう動作が停止していました。なお、挿抜処理タスクでの挿入処理時間は非常に短いため、本症状の発生頻度は極めて低いと思われれます。					
<b>【回避方法】</b> ・ソースコードを修正する。 (改変箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)					